

小羊の勝利を共に

ヨハネの黙示録一七章一〜一八節

この者どもは小羊と戦うが、小羊は彼らに勝利する。小羊は主の主、王の王であり、小羊と共にいる者たちは召された者、選ばれた者、忠実な者だからである。(14)

悪の勢力が小羊なる主に戦いを挑みますが、「主の主、王の王」は彼らに勝利します。悪の力がどんなに絶大に見えても、神の前には敗北者に過ぎません。彼らの命が限りあることを「かつてはいたが、今はいない。……ついには滅びてしまふ」(8)と語られます。ローマ帝国の圧倒的な力に苦しんでいた当時の教会の人々にとり、これは大きな慰めだったことでしょう。私たちもやがて滅びる人間を恐れるのではなく、「今おられ、かつておられ、やがて来られる方」(一四)を畏れなければなりません。この方こそ、真の勝利者だからです。主イエスのご誕生を祝うクリスマスを迎えようとしています。世の多くの人々はこの方を、昔はいたが今はいない方として見ています。けれども私たちは、主は今も生きておられると心から信じて、そのお方を心の真ん中にお迎えしましょう。